

事業所名

児童発達支援・保育所等訪問支援  
なないろ・mic

## 支援プログラム

作成日

2024 年

7 月

15 日

法人（事業所）理念		「未来」のために、今日の「成長」と限らない可能性を追求する。（法人） こどもたちの未来の為に、明日への一歩を応援する。（なないろ・mic）					
支援方針		利用者が日常生活の能力向上における基本的動作及び知識技能を習得し、集団生活や社会生活に適応できるよう支援する事を目的とする。そして、利用者の身体及び精神の状況やその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な支援を行う。					
営業時間		8 時	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	（身辺自立と心の成長） ・食事・排泄・着脱等の自立に向けた生活支援を行います。こどもの成長を尊重する事で無理のない援助を心掛け、自分でできたと感じることでできる環境を整えています。そして、自分の思いを伝える方法を知り、困った時のSOSの出し方についても学んでいきます。					
	運動・感覚	（器械運動・リトミック・バルーン遊び・小集団ゲーム・デジリハ） ・運動能力や潜在的な基礎能力の向上を目的とし、様々なプログラムを用意しています。大きく体を動かす事で育つ感覚機能。小集団ゲームでの協調性。そして器械運動ではバランス感覚を中心に体の使い方を向上させていきます。バルーン遊びは音楽に乗って体を動かすことから、リズム感覚を育む事ができます。リトミックでは、今から育つであろう様々な潜在的な基礎能力の発達を促します。最後にデジリハですが、ICTを活用した幻想的な世界の中で、個々に応じた興味や関心を広げていきます。					
	認知・行動	（自立課題・視覚支援） ・自立課題では、ワークシステムを使いブットインやマッチング、仲間分け、文字や数字の学習。そして巧緻性を育むトンゴや箸、洗濯バサミ等の教材を取り入れた課題学習です。安定した自己肯定感の向上を目指しながら集中力や根気強さも育んでいきます。 ・視覚支援を取り入れることで、言葉の見える化を行い、見通しをもって安心した生活を送る事ができます。					
	言語 コミュニケーション	（ソーシャルスキルトレーニング・発語） ・円滑な社会生活を送る為の様々なスキルを学びます。教示→モデリング→実際にやってみる→フィードバックを基本に、「いつでも」「どこでも」「誰とでも」社会生活を送ることができることを目指しています。 ・コミュニケーションボードを活用し、行動に言葉を添えて言語の発達を促していきます。					
	人間関係 社会性	（遊び・社会見学） ・ともだちと遊ぶ中で、円滑に遊びを進める方法を学んでいきます。人間関係を構築していく過程での様々な経験は、こどもたちの大きな学びとなります。 ・公共施設に出かけて、学んだスキルを使う活動を取り入れています。					
家族支援		必要に応じて、保護者の子育て相談をお受けしています。日々、お帳面にて保護者と事業所で情報交換、情報共有を行っており、送迎時には、その日の様子を個々にお伝えして安心して帰宅してもらう事を心掛けています。			移行支援		並行利用の各園と情報共有を常に行い、こどもの成長を見ながら園と児童発達支援の利用状況を検討している。
地域支援・地域連携		・地域の保育所と交流。 ・地域の秋祭り参加。 ・他事業所との異年齢児交流。			職員の質の向上		毎月、講師を交えて勉強会を行っている。細かい相談や支援について話し合いが行われている。年10回のzoom研修会や、SST研修会等実施しています。
主な行事等		事業者外活動（バスや電車の利用・遠足・外食・買い物体験・見学・地域の保育所訪問・地域の秋祭り参加等） 事業所内活動（夏祭り・クッキング・季節の製作・ミニ運動会・プール遊び等） 避難訓練					